

傘ホルダー(2018. 5. 14)



<特徴>

脳血管障害の方からの「麻痺している手で傘を持ちたい」というニーズに対応して傘ホルダーを製作しました。万能カフに取り付けた伸縮ベルトで傘の柄を巻いて傘をホールドします。万能カフの着脱は麻痺していない手でできます。

<ワンポイントアドバイス>

利用者の手や、傘の柄の形状に合わせて、ホルダーの形状を変えます。

棒型ソックスエイド(2018. 5. 28)



<特徴>

腰痛の方からの「腰の痛みが強くない姿勢でソックスをはきたい」というニーズに対応したソックスエイドです。自助具を引き寄せる部分がヒモであると、足先をソックスの中にスムーズに入れられず、腰の痛みが強くなることがあるので引き寄せる部分を棒にしました。ソックスを入れる部分はデスクマットをカットして製作しました。

<ワンポイントアドバイス>

利用者の状態や体格に応じて、持ち手の長さなどを変えます。

キーボード台 (2018. 6. 8)



<特徴>

脳性麻痺の方からの「車いすに座っていても、床に座っていてもパソコンを操作したい」というニーズに対応しました。顎でキーボードとトラックボールを操作できるように台を製作しました。台は上下分割式で床に座った時は（写真右下）のように上の台だけを使います。

<ワンポイントアドバイス>

利用者の状態やキーボードなどに応じて、台の大きさや高さなどを変えます。

ズボンエイド(2018. 6. 14)



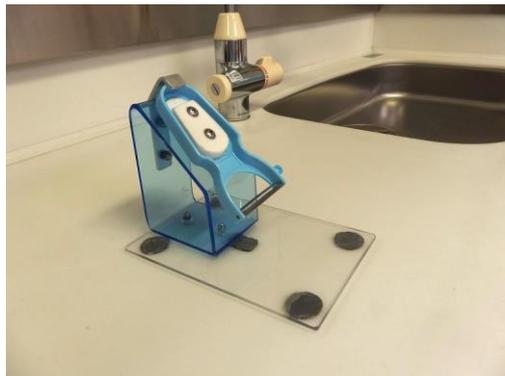
<特徴>

腰痛の方からの「腰をかがめても、足を曲げて腰に激痛が起こるので、自分でズボンをはけない」というニーズに対応しました。赤いヒモ 2 本の先端に、それぞれ百円均一ショップで購入したカーテンクリップをつけました。カーテンクリップは開け閉めに力が必要ですが、両手は自由に使えるので簡単にズボンを挟めました。畳に置いたズボンを袴のように履きます。

<ワンポイントアドバイス>

利用者の体格に応じてヒモの長さを変えます。

ピーラー台(2018. 6. 18)



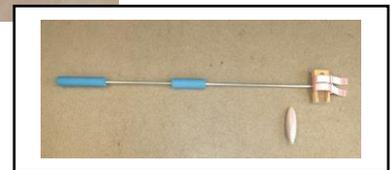
<特徴>

脳血管障害による片麻痺の方からの「片手でキウイや柿の皮をむきたい」というニーズに対応しました。アクリル板で製作した台の下には滑り止めが貼ってあります。ワンタッチでピーラーを脱着できるので、楽に洗うことができます。

<ワンポイントアドバイス>

皮をむく果物や野菜に応じて台の高さや角度を変えます。

電動爪削りホルダー (2018. 7. 13)



<特徴>

変形性股関節症のため両側人工関節の方から「足の爪を切ってくれていた家族が入院したので困っている」というニーズに対応して、電動爪削りのホルダーを製作しました。両手でホルダーを持ち、足の爪を削ります。電動爪削りはワンタッチで脱着できます。

<ワンポイントアドバイス>

利用者の状態に合わせてホルダーの長さや形状を変えます。

電動車いす用キャリーバック
固定ベルト (2018.11.15)



<特徴>
電動車いす利用者からの「海外旅行に行く時、介助者が2つのキャリーバックを運ぶのが大変なので、利用者のキャリーバックを電動車いすに固定できるようにしてほしい」という要望に対応しました。脱着式のベルトのフックを電動車いすにひっかけてキャリーバックを固定します。

<ワンポイントアドバイス>
キャリーバックのサイズに合わせてベルトの長さを変えます。

ホッチキス止め台(2018.11.29)



<特徴>
脳血管障害による左片麻痺の方からの「職場で書類をホッチキス止めする時に書類がずれてしまうことが多い」というニーズに対応しました。使い方は、自助具に書類を置き、手前と右側の板で書類を揃えます。右片手でホッチキス止めします。
※2023年2月13日に改良版を製作しました。

<ワンポイントアドバイス>
左片手でホッチキスを使う方には、斜めにカットする位置を変えます。

コップホルダー(2018.12.20)



<特徴>
両手に障がいのある方からの「テーブルに敷いた滑り止めマットではコップが倒れてしまうし、食器の形に穴を開けた食器台では食器の位置を変えることができない」というニーズに対応しました。コップと密着した形状になるように寄木で製作しました。ペアカップの要望に応じて2個製作しました。

<ワンポイントアドバイス>
裏面に滑り止め材を貼ってあります。